

第1章 総論

I 策定の趣旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大、人口減少・少子高齢化の進行、デジタル化・脱炭素社会への対応、グローバル化の進展、頻発化・激甚化する自然災害等、私たちを取り巻く状況は大きく変化しています。

また、世界の持続可能性を見据え、あらゆる人々が活躍する社会やジェンダー平等の実現等、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指したSDGsの考え方が一層重要となっています。

このような中、福岡県を元気に飛躍させ、日本の発展を支えていくためには、世界を視野に置き、未来を見据えて目指すべき福岡県の姿を明らかにし、施策の方向を示していく必要があります。

そこで、本県では、これからの県政を計画的に、そして着実に進めていくための指針として、「総合計画」を策定しました。

計画の目指す姿を実現するために、県民の皆様はもちろんのこと、県議会、市町村、そして商工、労働、農林水産業、医療、福祉をはじめとする様々な地域の関係者や団体の皆様と連携・協力しながら県政運営を行ってまいります。

II 計画の性格

県の目指すべき姿を示すとともに、県政の各分野における施策の方向を示し、県の行政運営の指針となるものです。

なお、本計画は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に規定する地方版総合戦略（福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略）としても位置づけ、一体で取り組んでまいります。

III 計画の構成

第1章 総論

本計画の策定の趣旨、性格、計画の構成、期間、県政の基本姿勢を示します。

第2章 福岡県の目指す姿

本県を取り巻く社会経済状況の変化と本県の強みを明らかにします。その上で、目指すべき福岡県の姿（将来像）を示します。

第3章 人口ビジョン

本県における人口の現状と県民の希望する子どもの数等を踏まえた将来展望を示します。

第4章 展開する施策

第2章、第3章を踏まえ、めざす姿の実現に向け、展開する施策を体系的に整理し、それぞれの現状・課題と具体的な取組を示します。

また、施策ごとに数値目標を設定し、その達成度を確認しながら、施策の充実・強化を図ります。

第5章 広域地域振興圏の現状と施策の方向性

市町村の地方版総合戦略の策定・推進を支援するための情報として、15の広域地域振興圏ごとの人口構造、人口動態、産業構造、地域資源等に関する現状分析と施策の方向性等を示します。

IV 計画期間

2022（令和4）年度から2026（令和8）年度までの5年間

V 県政推進の基本姿勢

- ・ 常に「県民」を真ん中に置き、県が何をなすべきかを考えて県政を進めます。
- ・ 県庁一丸となって、地域の関係者や団体の皆様をはじめ、広く県民の皆様の意見を聴き、施策に反映します。
- ・ 二元代表制のもと、県議会との信頼関係を基に、緊張感を持って議論を行います。
- ・ 県内全ての市町村と連携し、県民のための行政を進めます。

